

11月3日

自民改憲シフト強化

日本会議が軸 首相「やる気示そう」

自民改憲会議、憲法

改正推進本部を憲法改正実現本部に改称し、本部長に古屋圭吾政調会長代行を充てる人事を決定しました。「憲法改正・国民運動委員会」も新設し、世論の機運を高めるための対話集会や全国遊説を展開するとしています。岸田文雄首相（党総裁）の意図を踏まえ、改憲に取り組む県の体制を強化するもので

古屋氏は日本会議

国会議員懇談会の会長で、安倍晋三元首相の盟友の一人。最大派閥・安倍派の会長となつた安倍氏の全面支援も受けて改憲実現を目指すとみられます。

じい」と掲示しまし

た。この後、古屋氏は記載に「名前は國会議員に」「主戦場は国会だ」と述べた上で、日本維新の会などを急頭

に「各政党との連携も

極めて重要だ」と語りました。

日本会議勢力を軸と

して国会での改憲論議

を加速する新たな改憲シフトの強まりに警戒

が必要です。

藤義孝元総務相が就任しました。新藤氏も日本会議議連副会長である一方、維新の会の国連事務局長、馬場伸幸幹事長は同議連副会長

です。

日本会議勢力を軸と

して国会での改憲論議

を加速する新たな改憲シフトの強まりに警戒

が必要です。

岸田直相は19日、首

相官邸で古屋氏と会談し、「名前だけではなくて体制も変え、しっかりとやる意を示すではないか。憲法改正に向けた議論を深めてほ

す。